

科目名	国文学各論Ⅰ			担当教員	大石 真由香
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	
期待される学修成果					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク				
実務経験	教諭（講師含む）				
実務経験を生かした授業内容	学校現場での経験を活かし、日本古典文学の読解法について講義する。				
到達目標及びテーマ	〈テーマ〉『小倉百人一首』について学び、伝統的な言語文化に対する知識と理解を深める。 〈到達目標〉 ○変体がなに関する基礎的な知識を学び、くずし字で書かれた和歌をよむことができる。 ○『小倉百人一首』に関する知識を深め、作品の成立背景を踏まえて和歌を鑑賞することができる。 ○和歌の修辞や古典文法・語彙についての知識に基づいて、和歌を読解することができる。				
授業の概要	古典教材の重要な作品のひとつである『小倉百人一首』を通して、伝統的な言語文化に対する興味・関心を高めるとともに、日本古典文学に関する知識・理解を深めることを目的とする。変体がなの基礎、和歌の修辞、『小倉百人一首』成立の背景・受容史について講義を行った上で、くずし字で書かれた和歌をよむグループワークを行う。また、各回一～二首を取り上げて、作者・作歌背景・内容について解説する。さらに、伝統的な言語文化に親しんでもらうため短歌創作の活動を取り入れる。 【デジタル技術利用：①、④、⑥】				

授業計画	
第1回	授業ガイダンス、くずし字とは何か
第2回	【活動】くずし字をよむ①ー『古今和歌集』仮名序を読むー
第3回	和歌の修辞技法①ー枕詞・序詞ー
第4回	和歌の修辞技法②ー掛詞・縁語ー
第5回	和歌の修辞技法③ー本歌取りー
第6回	小倉百人一首とは何か
第7回	【活動】くずし字をよむ②ー 1， 2， 9 9， 1 0 0 番歌ー
第8回	御製の和歌①ー 1， 2 番歌を読むー
第9回	御製の和歌②ー 9 9， 1 0 0 番歌を読むー
第10回	【活動】くずし字をよむ③ー 1 2， 1 7， 5 1， 5 6， 8 9 番歌ー
第11回	見立ての技法ー 1 2， 1 7 番歌を読むー
第12回	地名と和歌ー 5 1 番歌を読むー
第13回	実詠と題詠ー 5 6， 8 9 番歌を読むー
第14回	【活動】短歌を創作する
第15回	まとめ（授業の総括と確認テスト）

事前学修		毎回授業のはじめにユニバを利用して小テストを行います。前回までの授業の内容を復習し、小テストのための学修を行ってください。 中学校・高等学校で使った国語便覧や百人一首テキスト等を読み、次回授業で扱う和歌に関する知識を確認しておいてください。
事後学修		授業で扱った和歌について配布プリントを再読し、くずし字読解、作歌背景、和歌の修辞、内容等の知識を定着させてください。 また、授業内に提示した和歌解釈に対する意見を述べる等の課題を課すことがあります。授業内に指示した課題（ユニバにて提示）は、忘れずに取り組んでください。
フィードバックの方法	・毎回授業のはじめにユニバを用いた小テストを行い、即時採点することで各自が自分の理解度を確認できるようにする。 ・希望者には、採点した確認テストの解答用紙の閲覧ができるようにする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
上記以外の試験・平常点評価	50%	確認テスト（第 1 5 回授業内に実施。論述形式）
上記以外の試験・平常点評価	30%	小テスト（毎回授業のはじめにユニバを利用して和歌の技法・くずし字読解等の復習テストを実施）
上記以外の試験・平常点評価	20%	ユニバで提示した課題等提出物、グループワークへの参加度
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
〔増補改訂〕仮名変体集	伊地知鉄男	新典社	978-4-7879-0410-2	第 2 回授業時までに購入してください。
参考資料	・古語辞典（電子辞書も可。確認テスト時に持ち込みを認めていますので、各自で用意してください）。 ・鈴木日出男・山口慎一・依田泰『原色小倉百人一首』（文英堂、ISBN978-4-578-24504-9）。その他、『国語便覧』（浜島書店）など中学校・高等学校で使った国語便覧、図説、百人一首テキストがあると理解の助けになります。 ・小学校学習指導要領、中学校学習指導要領。			